

てがたんレポート Vol.3 No.9 (2006年9月：通巻30号)

観察コース： 鳥の博物館（受付と今日の予定確認） 鳥博前3.5.15号線沿いに香取神社 田んぼを横切り遊歩道 遊歩道沿いに釣り堀前カツラの広場（まとめと解散）、 鳥の博物館 鳥の博物館駐車場前の水田 遊歩道 遊歩道沿いに釣り堀前カツラの広場

観察日時 / 天気：2006年9月9日（土）10:00～12:00 / くもり

参加人数：20人

観察案内&記録：

- ・ ボランティア・スタッフ（敬称略・五十音順）：伊東茂子、小野寺喜四郎、楠本直子、楠本吉弘、染谷迪夫、弘實さと子、古川克彌
- ・ 鳥博職員：時田賢一、斉藤安行、岡廣志

今回のテーマ
・ 田んぼの植物観察
・ トンボを見よう

観察記録ーみんなで観察した生き物リストー

観察した生き物

【鳥類】 カイツブリ、カウウ、ダイサギ、コサギ、カルガモ、キジバト、コゲラ、ツバメ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、ヒヨドリ、シジュウカラ、スズメ、ムクドリ、ハシブトガラス、（外来種や家禽）バリケン

【虫】

- ・ チョウの仲間：クロアゲハ、カラスアゲハ、ナガサキアゲハ、アゲハ、キアゲハ、アオスジアゲハ、キタテハ、モンシロチョウ、スジグロシロチョウ、モンキチョウ、キチョウ、イチモンジセセリ、キマダラセセリ、ツバメシジミ、ルリシジミ、ヤマトシジミ、ベニシジミ、ウラギンシジミ、サトキマダラヒカゲ、ウラナミジャノメ？、ヒメジャノメ
- ・ チョウやガの幼虫：キイロスズメ、アメリカシロヒトリ
- ・ 甲虫の仲間：アトボシアオゴミムシ
- ・ ハチの仲間：クロアナバチ、コガタスズメバチ（巣もあり）
- ・ カマキリの仲間：ハラビロカマキリ、チョウセンカマキリ
- ・ バッタの仲間：コバネイナゴ、クルマバッタモドキ、ショウリョウバッタ、オンブバッタ（以上バッタの仲間）、エンマコオロギ、ツツレサセコオロギの声（以上コオロギの仲間）、クビキリギス（以上キリギリスの仲間）
- ・ トンボの仲間：ノシメトンボ、ウスバキトンボ、シオカラトンボ、コシアキトンボ、ウチワヤンマ、チョウトンボ、アジアイトトンボ、アオモンイトトンボ

【クモ】

オニグモ、ナガコガネグモ、ジョロウグモ

【そのほかの動物】

ニホンアマガエル（両生類）

【花】

- ・ 黄色：スベリヒユ、チョウジタデ、オオジシバリ、イヌガラシ、コセンダングサ
- ・ 青色：トキワハゼ、スズメノトウガラシ、キュウリグサ、コナギ、カントウヨメナ
- ・ 赤・紫色：ミズヒキ、ツルマメ、イヌタデ、ヘクソカズラ、エノキグサ、クズ、ヤマハギ（植栽）、サルスベリ（植栽）
- ・ 白色：オモダカ、セリ、タカサブロウ、アメリカタカサブロウ、ヌスビトハギ
- ・ その他：ホソバアオゲイトウ（ヒユ科）、ヨモギ（キク科）、エノキグサ（トウダイグサ科）、アレチギシギシ（タデ科）、ヤブガラシ（ブドウ科）、コゴメガヤツリ、コアゼガヤツリ、キンガヤツリ、カヤツリグサ、タマガヤツリ、ヒデリコ（以上カヤツリグサ科）、スズメノヒエ、ケイヌビエ、イヌビエ（以上イネ科）、コガマ、ヒメガマ（以上ガマ科）、オオオナモミ（キク科）

【実】

ハウチャクソウ、サンショウ、アオキ、シラカシ、ヨウシュヤマゴボウ

9月の観察アルバム



アカバナ (マツヨイグサの仲間を含むアカバナ科の代表)



セリに産卵中のキアゲハ



クズの花



ツルマメの花 (大豆の原種と考えられています)



エノキグサの花



キイロスズメの幼虫



田んぼの中のイヌビエ



ホソバアオゲイトウ

似たもの同士を比べてみました



アメリカタカサブロウ



種子の形のちがいに注意!!



タカサブロウ



アオモンイトトンボ



腹部第8節が青色



アジアイトトンボ



腹部第9節が青色



香取神社の参道の脇には、ヌスビトハギとハエドクソウの花が咲いていました。



釣り堀付近のカツラの植栽樹に、コガタズメバチが巣をつくっていました。



参加者からオナガガモ渡来を聞き見に行ったところ、オナガガモが2羽渡来していました。



コース

コース

田んぼのあぜを、アトボシアオゴミムシが歩いていました。

